

授業科目名	言語聴覚障害診断学 I		授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	島本 裕士		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>言語聴覚障害を抱える人々を援助するには的確な診断が必要である。そのためには情報収集、検査を中心とした評価が欠かせない。本講義では、診断に至る一連の流れを通して、診断についての基本的な考え、情報収集の方法、検査法の選択などとともに解釈の方法について学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>各検査についてマニュアルを見ながら実施できる。 検査と対象疾患について説明できる。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	オリエンテーション					
第 2 回	検査練習（各検査） 概論					
第 3 回	検査練習（各検査） 概論					
第 4 回	検査練習（各検査） 概論					
第 5 回	検査練習（各検査） 概論					
第 6 回	検査練習（各検査） 概論					
第 7 回	検査練習（各検査） 概論					
第 8 回	検査練習（各検査） 概論					
第 9 回	検査練習（各検査） 概論					
第 10 回	検査練習（各検査） 概論					
第 11 回	検査練習（各検査） 概論					
第 12 回	検査練習（各検査） 概論					
第 13 回	検査練習（各検査） 概論					
第 14 回	検査練習（各検査） 概論					
第 15 回	検査練習（各検査） 概論・まとめ					
評価方法	実技テスト					
教科書 参考図書	〔教科書〕 適宜資料配布					
	〔参考図書〕 適宜資料配布					
履修上の 留意点	実技は各グループに分かれて実施します。各検査の数に限りがあるので、グループにより実施する検査が異なります。まずはマニュアルを読んで理解すること。実技での不明点等は積極的に質問すること。みなさんが主体的に取り組むようにしてください。					
メッセージ	実技は主体的に、受け身にならないように。					